

特定非営利活動法人 東京YWCA ヒューマンサービスサポートセンター 会報

見守り、支え、伝えあう

私達は、福祉・介護の仕事のゆたかさを広める活動を推進します。

Contents (目次)

2・3 **MAIN TOPICS** 上半期の動きについて

立ち上げから半年が経ち、現状の活動の様子をお知らせします

4・5 **講座など活動報告**

それぞれの担当より、コメントをいただいています

6・7 **会員さんの職場にお邪魔しました♪**

第1回目は、当NPO法人の理事 長尾恵理子さんが所長を務める、千葉・四街道にある
デイサービス「ここ樂もねの里」です

8 **会員近況・ボランティアさんご紹介**

この活動を支えてくださる会員の近況と協力してくださっている方の紹介をしています

9 **会員交流ひろば「Salon de YY」(サロン わいわい)**

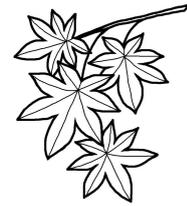
会員の相互交流のための自由な掲示板です。今回は「求人特集」です

10・11 **アンケート集計結果**

前回、ご協力いただいた運営と会報についてのアンケート結果をまとめました

12 **Information**

付録 9月3日開催の「地震!! その時わたしは」で配布された「サバイバルカード」
が付いています



会員募集中です！～みんなで会員の輪を広げましょう～

2011年11月1日現在の会員数 **61名**

(正会員48名、賛助会員9名、団体会員4団体)

多くの方のご協力により、前回から6名増えました。2011年度は税制優遇の為に正会員100名、賛助会員20名、団体会員10名を目標としています。引き続きご協力をお願いいたします。

会費のお振込みをお願いいたします



MAIN TOPICS 上半期の動きについて

NO.2の会報にて平成23年度の予算書をご覧いただいておりますが、半年経ち、現状どのように動いているのかお知らせします。

古巣の東京YWCA会館に戻り、4月4日NPO法人の登記を済ませ心機一転、CW卒業生の寺内(週2回 事務全般を担当)と石井の二人三脚で粘り強く取り組んでいこうと、スタートしました。

1つ目の課題は収入が限られている事でした。事業収益の見通しが立つのが、講師派遣が始まる7月以降であり4月～7月までをどのように乗り切り、安定した収益を見込めるような基盤を作っていくかを考え、まずは人件費の削減に取り組みました。また毎月固定した出費をできるだけ切り詰めています。

2つ目の課題は、信頼を得るための広報活動と事業の実施であり、計画した講座・講習は必ず実施するために、あらゆる手段をとって柔軟に対応しました。

3つ目には、会員の拡大と我々の活動を共に担ってくれる人を増やすこと。困っているときには、手を差し伸べ支えてくださる卒業生・元講師・社会保険労務士・税理士の方々とたくさんのお力を得て

以下、事業内容の詳細です。

講座講習

(2011年10月末現在)

講座名	時期	内容	対象	講師
生活支援技術「衣食住」	7/29,8/26	生活全般	グループホーム職員・ホームヘルパー	女子栄養短大 佐藤・徳森
地震そのとき私は	9/3	防災	主に管理職	市民防災研究所 理事 池上、他
介護実習指導者講習会 1回目	9/28、10/1,12,15	実習指導講習	実習指導に携わる職員	遠藤・長尾・石井・土岐・蛸原
介護実習指導者講習会 2回目	11/12、16、30、12/3	〃	〃	〃
介護実習指導者講習会 3回目予測	1/14、18、2/1、4	〃	〃	〃

各講座・講習共に集客が難しかったです。4月に開催予定の「生活支援技術衣食住」では、開催の中止も考えましたが、参加を希望されている施設の期待を裏切らないためにどのような形でなら開催できるかを検討しました。開催の時期・内容・実施方法も当初の予定から変更し、これまで関係の深かった中央区特養晴海苑に講師を派遣するという形で開催できました。講師の女子栄養大学短期大学部の佐藤智英先生とCW卒業生 徳森敬子氏、晴海苑の副施設長の西村氏のご協力で、実施できました。

「地震そのとき私は」の集客についても苦戦しましたが、白十字ホームの西岡施設長・桃三ふれあいの家 大井施設長のご協力により、参加者が増え開催することができました。講師として全面的にご協力いただいた池上氏のパワーに感動です。80～90%の方々が満足と答えてくださり講師の皆様のお力によるものと、感謝しております。(講座中の写真、内容、アンケートの詳細はホームページをご覧ください)

「介護福祉士実習指導者講習会」については、昨年の募集状況から集客を各回40名と見越していましたが、1回目が23名、2回目は15名で開催中、3回目は18名の予定で厳しい状況が続いております。収入確保の為に、一番の出費となる講習会の会場を2回目より東京YWCA会館から愛恵ビルに変更して、費用を削減しています。

講師派遣研修

施設・事業所	内容	時期	対象	講師
特養A	課長・中堅・初任者	2011.6月～2012.3月	課長・中堅・初任者	窪田・土岐・石井・蛭原・日向野・荒木
特養B	リーダー・ケアワーカー基礎・2012新人	2011.8月～2012.7月	リーダー・ケアワーカー・2012新人	新田・徳森・土岐・石井・蛭原・荒木・日向野
特養C	マナー・モチベーションup	2011.7・8月	全職員	徳森
障害者地域生活支援センター	リーダー	2011.6月～2012.2月	中堅職員	土岐
K区社協・地域支援	地域支援:ホームサポートスタッフ養成	2011.6月～2012.2月	地域住民	和田・徳森・蛭原・石井
YWCA地域センター	教養	2011.10月13.27日	一般	川副

現在動いている講師派遣事業は、年間を通しての研修先が2施設と、複数回の研修・講習会が、4事業所となっています。専門学校時代の講師、卒業生の全面的な協力をいただき、講師派遣研修を進めております。今年度は、講師給を昨年度の半額でお願いしているため、来年度には少しでも改善できるように努力していきたいと考えています。特養Aは、既に3年目の研修であり、初任者・中堅職員の研修に加えて、課長研修を実施することになりました。課長研修では、窪田先生がYにお越しくださり月1回計10回のグループスーパービジョンを実施しています。主催者として参加させていただいておりますが、私自身、先生のスーパーバイザーとしての言動、所作、場の雰囲気、やり取りの全てから学ばせていただく機会に感謝しています。特養Bは、YWCAの幹事でもある藤谷さんが所属している施設であり、研修に繋げていただくことが出来ました。

また、講師派遣研修の新たな取り組みとして、元専門学校非常勤講師であった中村道子先生（現駒澤大学助手）のご協力で研修の効果測定を行っております。こちらに関してはまた機会を改めて、ご報告させていただきます。

東京都福祉サービス第三者評価事業

東京都福祉サービス第3者評価事業所として8月に認証、現在、社会福祉法人聖風会桜花苑デイサービスセンターからの依頼を受け評価活動を進めております。11月28日に訪問調査の予定です。評価チームは、リーダーでマネジメント担当が遠藤、サービスのプロセスが石井、サービスの実施をCW卒業生 藤井紀子氏が担当します。初仕事であり、徳森氏の紹介でこれまでも関係の深い施設でもあるため、期待に応えることができるように精一杯取り組みます。来年は第3者評価事業を収益の大きな柱として考えています。



『地震！！そのとき私は ～福祉職として何をすべきか、何ができるか～』

未曾有の東日本大地震、どのように対応をされましたか。利用者の生命・生活はどのように守ればよいか。職員の体制はどのように整えるか。多くの課題を抱えながら、福祉施設や事業所の責任者、職員として適切な行動がとれるように、来るべき危機を「想定」し、予測した危機に備えて、創造力（クリエイション）と想像力（イマジネーション）を働かせて「準備」したいものです。その第一歩としてパネルディスカッション、講演会を開催しました。

第1部 パネルディスカッション 内容抜粋

神生 幸子氏 社会福祉法人 翠清福祉会 軽費老人ホーム「ケアハウスみと」施設長

今回の地震で絆、支えあいのところを体験した。いざというとき力になってくれる職員、地域の方々への信頼と感謝の思いが大切だと報告下さいました。

大井 妙子氏 高齢者デイサービスセンター 桃三ふれあいの家 施設長

地震の対応はどうしていったらよいか。職員体制の確認では家族と連絡がとれ帰宅可能になるまで利用者を保護する方針であることを報告下さいました。

上岡 夏見氏 社会福祉法人 白十字ホーム職員 都「社福施設等に対する介護職員等の派遣」参加

被災地へ東京都から派遣され、感じたことを発表下さいました。

第2部 ◆講演◆ 「地域で減災！あなたが力、みんなが力」

池上三喜子氏 財団法人 市民防災研究所 理事・公益財団法人 東京YWCA 運営委員長・当 NPO 会員

講師派遣研修

いざと、日頃からどのような備えをしておけばよいのか、また、地域の課題や魅力は何か、お話し下さいました。

① 災害を軽減する「自助」「共助」

平時から「自分にできること」、「家族でできること」、「ご近所と力を合わせること」などについて考え、いつくるかわからない災害に備えておくことが大切

② 内閣府「一日前プロジェクト」から伝わる住民の意識

普段からお宅を訪問して健康状態を聞いたり、心配事はないか話をして自治会長さんとうまく連絡をとりあって、一緒に避難するという約束事をつくっておけば、皆と一緒に逃げられる。

③ 内閣府「一日前プロジェクト」から伝わる行政職員の意識

被害の大きさによって動きは変わるにしても、最低限の役割分担を決める必要がある。

④ 神戸市灘区で被災の教訓

いざ震災となると頼れるのは個人の想像力と創造力だけである。家庭・生活・地域・行政に一貫した「しなやかな強さ」が求められている。

【講演参加者の声】

- たくさんの事例を入れての説明はとても説得力があり、ホームのあり方、自分の今後を考えさせられました。
- 実践・経験に基づいたお話だったのでためになり、充実した講演会になりました。他、多数・・・

今回、会員特典として「サバイバルカード」を付録でつけました。ぜひともご活用ください

また、ホームページには写真を入れて内容を掲載しております。そちらも合わせてご覧ください

★ 講座：介護実習指導者講習会・・・蛭原まゆみ氏



東京YWCA専門学校の教育の柱であった実習指導。学生を育ててきたスーパービジョン。Yの実習指導方法を、講習会で伝えることができれば、現場の役に立つのではないかと考えて今年も「介護福祉士実習指導者講習会」を開催しています。

3回開催される日程のうち（各4日間）、9月から始まった1回目には23名が参加。「介護福祉士」という資格に誇りが持てるように、本当はどんな施設でありたいのか、介護の原点や介護過程の展開の指導方法を改めて考え、実習生には何を伝えたいのか、指導方法はどうしたらよいのかと、講義やグループでのディスカッション、ロールプレイで実習生の気持ちも経験しながら学ぶ指導方法、仲間との情報交換など濃い内容となっています。

1回目終了後のアンケートでは「施設に戻ったらほかの職員とともに、施設の体制や実習の受け入れについて見直したい」、「この実習指導の方法は職員の教育にも、生かしてみたいと思う」等、前向きな言葉がたくさんありました。

人材は現場のいのちです。実習指導者が良きスーパーバイザーとして成長し続けてくださったら良き人材が育つ土壌ができ、人材が人材を産み始めることでしょう。人生のある地点で介護が必要となり、介護福祉士や施設と出会う人が、自分らしい人生を歩み続けられるようにと祈りを込めて、2回目以降も福祉現場の役に立つ講習会ができるように襟を正していきたいと思えます。

★ 講師派遣研修：「リーダー研修」特別養護老人ホーム フェローホームズ・・・新田和子氏

今年8月からのケアワーカー基礎養成コースに続き、9月からユニットリーダー8名、グループリーダー8名を対象とした研修が始まった。最初に全員で、リーダー、リーダーシップ、チームの目的・役割とチームづくりについて学び、その後、ユニットとグループに分かれて各理念とチーム作りについて学ぶ。私は概論担当、詳しくは徳森さんが担当する。受講生は、18時半から2時間、疲れ・眠気・空腹を抱えつつ、または、研修のために出勤しながら、リーダーとしての自分を磨こうと意欲に燃えて参加している。その真摯な学ぶ姿勢に、毎回胸を打たれ、少しでも役立ちたいと願っている。

★ 東京都第三者評価事業・・・藤井紀子氏



東京都福祉サービス第三者評価は、都民の皆さんが福祉のサービスを選択し易い様に第三者による客観的な評価結果を公表し的確な情報提供を行うと共に、施設等のサービスの質の向上を目指し利用者本位のサービス実現の為に活動しています。評価機関として8月に認証され、依頼を受けていた社会福祉法人聖風会の千住桜花苑デイサービスセンターと9月に契約書を取り交わしました。10月に施設見学と職員自己調査等の説明を行い、職員の方への挨拶の際に遠藤先生が、第三者評価を初めてさせて頂く事業所で緊張と共に身が引き締まる思いであることをお伝えしました。事業所と共に利用者本位かつ職員の活力となるような第三者評価として取り組んで参りたいと思っております。

ここ楽見学

ここ楽見学

会員近況

川副 榮子さん(YWCA 専門学校 ケアワークコース平成 13 年卒業)

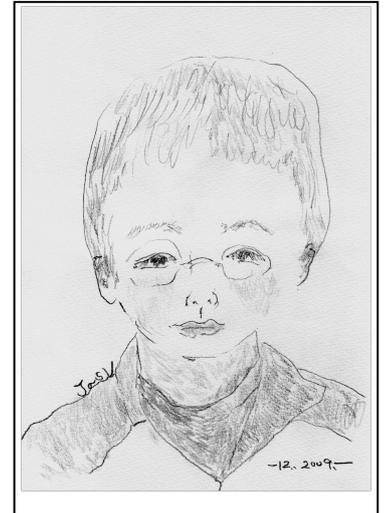
川副さんは柔らかな口調の芯のしっかりした女性です。とても活動的な方で、講師としてのお手伝いもしていただいています

こんにちは。50歳でケアワークコースに入学した川副です。化石化した脳細胞と大格闘、足腰の痛みに耐えてなんとか卒業。超激安のグループホームに就職したがため預金を崩しての日々でしたが、人間貯金はたっぷりできました。

定年後は横浜市の認知症キャラバンメイトとして、地域密着ボランティア活動に借り出されています。もう一つの貯金の場は、ヒューマンサービスサポートセンターでの

“窪田ゼミ”です。窪田暁子先生の言葉の中から、見えなかった糸がひきだされます。古く詰まった思考回路は浄化されて、集まった

方々の様々の考えを知るので、知識の貯金です。お金は相変わらず貯まりませんが、加齢はダイヤモンドのカラットと、勝手に思い込み、新たな人との出会いを楽しみにしています。



この似顔絵は、お知り合いの認知症の方が書いてくださったもの。宝物だそうです。

ボランティアさん紹介



柴田 美花さん(東京 YWCA 専門学校 ケアワークコース平成 13 年卒業)

得意なパソコンを活かして、主にアンケート集計などを手伝っていただいています。

今号の「地震講座レポート」や「ここ樂もねの里」見学レポートも作っていただきました。二人の女の子のお母さんで、この夏は念願の「野尻キャンプ」に家族4人で参加なさったそうです。



東京 YWCA 専門学校卒業後特別養護老人ホームに10年勤務し3月に退職しました。今、久しぶりに御茶ノ水に通い、ボランティアとして月2～3回の割合で活動しています。ここでの活動は刺激的日々です。利用者の生活がよりよくなるように施設職員と共に悩み共に考えどう実践につなげていくかを大切に考えたいと思っています。また児童養護施設で音楽療法をしながら児童と関わっています。『また来てね。』の言葉に私も支えら

れています。

サロン ド わいわい
Salon de YY

会員同志の相互交流の場として、掲示板を設けました。同窓会の告知、サークル活動の紹介、悩み事相談など皆さんからのお便りをお待ちしています。今回は「求人特集」です。

施設名	社会福祉法人 横浜共生会 地域生活支援センター海
事業形態	居宅介護事業、共同生活介護、児童デイサービス 地域活動支援センター、相談支援事業
職種・人数	生活支援員 若干名
勤務体系	勤務地、職種により異なる(応相談)
給与	当法人規定による
勤務地	横浜市港北区、都筑区、青葉区
住所(事業所代表)	〒223-0061 神奈川県横浜市港北区日吉2-5-11 第二康楽ビル3F
電話番号(事業所代表)	045-560-3363
担当者	萩原、西山
施設の特徴	横浜市北東部を中心に障がいのある方々が住み慣れた地域で安心した生活を送るために必要な様々な支援を提供しています。

求職中のお知り合いの方がいらっしゃいましたら、ぜひこちらをご案内ください。その際に「会報を見て」というと、話しがスムーズ

「白十字ホーム」で
検索してみてくださいね

施設名	社会福祉法人 白十字会 白十字ホーム
事業形態	特別養護老人ホーム
職種・人数	介護員5名、介護支援専門員、看護師 若干名
勤務体系	正職員、パートタイム
給与	http://www.hakujuij-home.jp/index.php?id=13
勤務地	東京都東村山市
住所	〒189-0021 東村山市諏訪町2-26-1
連絡先	042-392-1375
担当者	総務課 山田
施設の特徴	☆安心・いきいき・心ゆたかなケアを推進 ☆地域での活動を含め年間延べ1万人を超えるボランティアが活動しています。 ☆併設の病院や居宅系事業と密に連携し、地域ケアに取り組んでいます。 ☆HPは http://www.hakujuij-home.jp/

7:00~16:00 10:00~19:00
11:00~20:00 12:00~21:00
17:30~翌10:00夜勤 他

施設名	多摩済生園・ケアセンター
事業形態	特別養護老人ホーム・デイサービス他
職種・人数	ケアスタッフ 約5名
勤務体系	7:00~16:00 10:00~19:00 11:00~20:00 12:00~21:00 17:30~翌10:00夜勤 他
給与	221,800~292,500(介護福祉士)
勤務地	東京都小平市
住所	小平市美園町3-12-1
連絡先電話番号	042-343-2291
担当者	副施設長 中村 与人
施設の特徴	昭和52年開設の小平市でもっとも歴史のある施設です。15年ほど前に在宅施設ケアセンターを併設し、3年前には念願のユニット棟を増設しました。同一法人の母体は多摩済生病院であり、医療との連携によりターミナルケア等を実践しています。理念「添うこころ 本来の自分であられる生活の場」の実現に向けて職員一同努力しており、東京都第三者評価の結果等を検索していただければ、施設の雰囲気が伝わると思っています。見学は自由に来れます。福祉の世界への足がかりにでもなれば幸いです。



今回、掲載している4施設は、
専門学校の時から関係の深い施設
で、活動を支えてくださっている
団体会員さんです。
年間を通じた講師派遣研修も実施
中、人材育成に積極的に取り組ん
でいます。

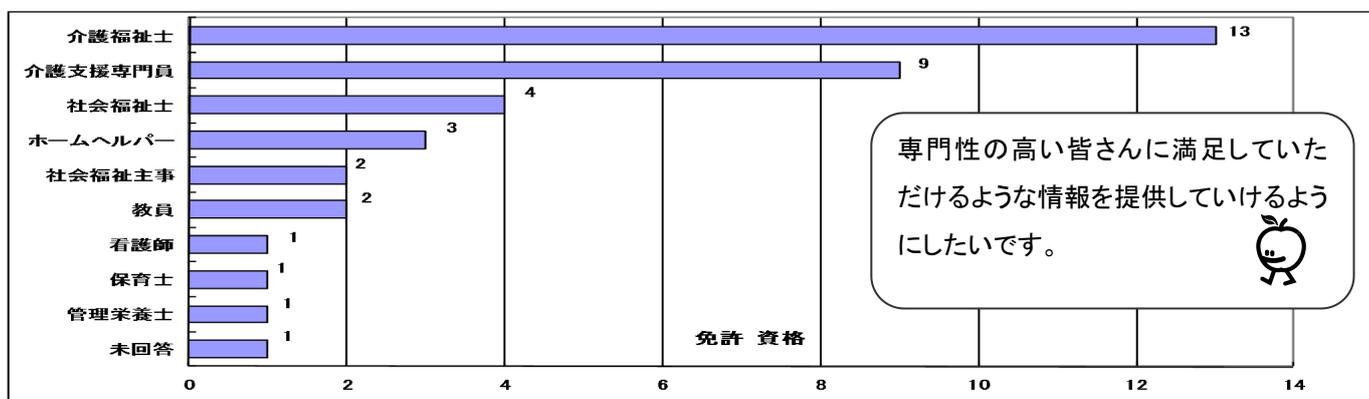
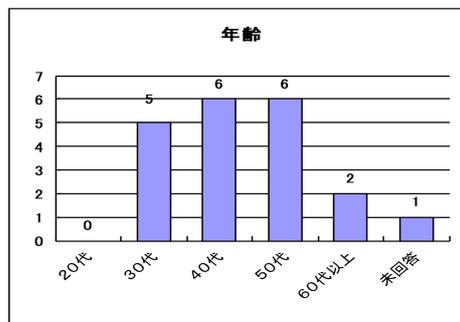
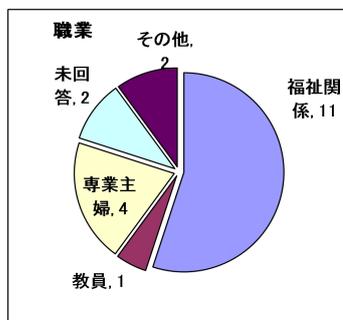
施設名	社会福祉法人 恵比寿会 フェローホームズ
事業形態	特別養護老人ホーム
職種・募集人数	ケアワーカー 主任候補・相談員 若干名
勤務体系	シフト勤務・1か月変形労働制
給与	192,500円~282,500円(夜勤手当・調整手当含む)
勤務地	特別養護老人ホーム フェローホームズ
住所	立川市富士見町2-36-43
連絡先電話番号	042-523-7601
担当者	山木好二・藤谷佐斗子
施設の特徴	2012年5月には、増築(ユニット型52床)が完成。利用者の視点に立った温かいケア・個々の生活を大切にケアの場がスタートします。

アンケート集計結果

会報 NO2 と共に配布したアンケートの集計結果です。20名の皆様より回答をいただきました。お忙しい中、ご協力をいただきましてありがとうございます。この場を借りて御礼を申し上げます。

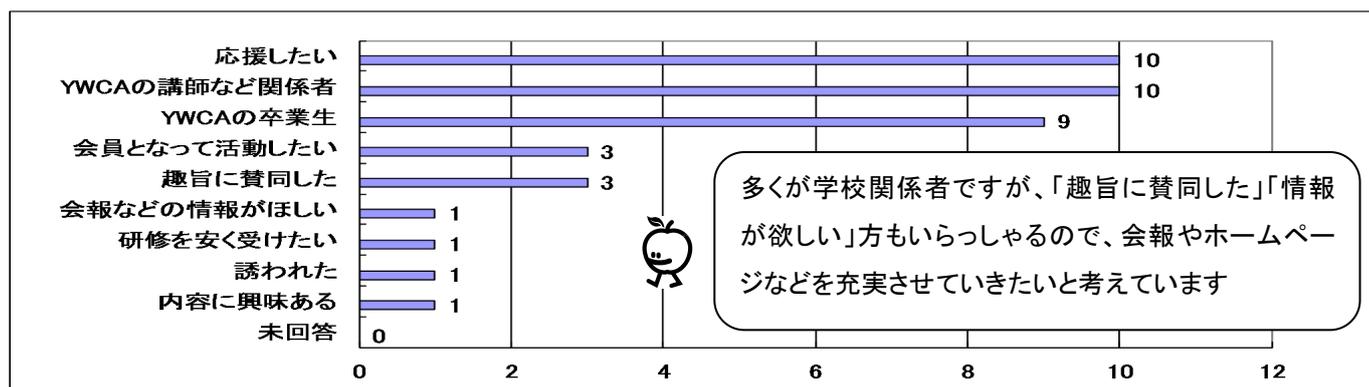
《会員属性》

 福祉関係で働く
30～50代の方が多
いですね



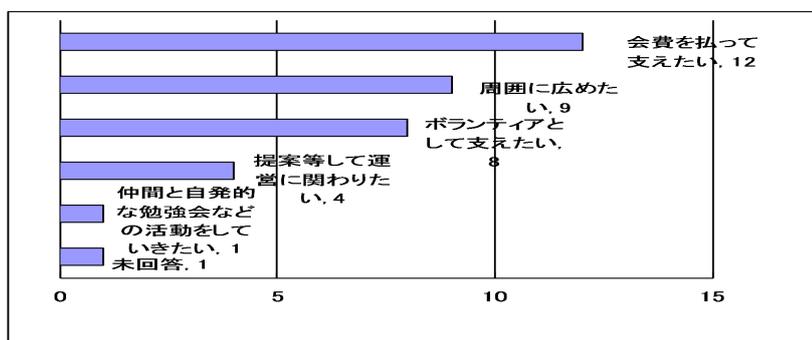
専門性の高い皆さんに満足していただけるような情報を提供していけるようにしたいです。

1 会員になった理由はなんですか (複数回答あり)



多くが学校関係者ですが、「趣旨に賛同した」「情報が欲しい」方もいらっしゃるので、会報やホームページなどを充実させていきたいと考えています

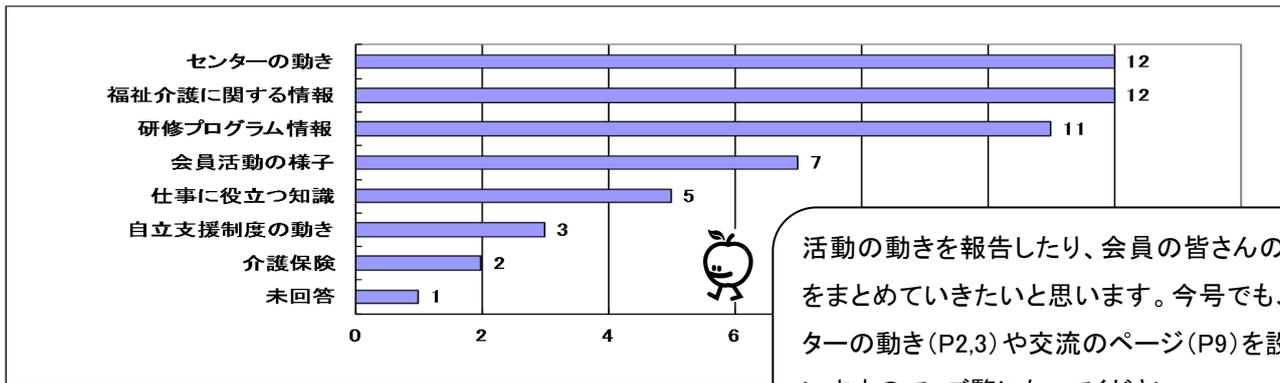
2 どのように活動をしていきたいですか (複数回答あり)



皆さんに支えていただいて、この NPO 活動が成り立っています。

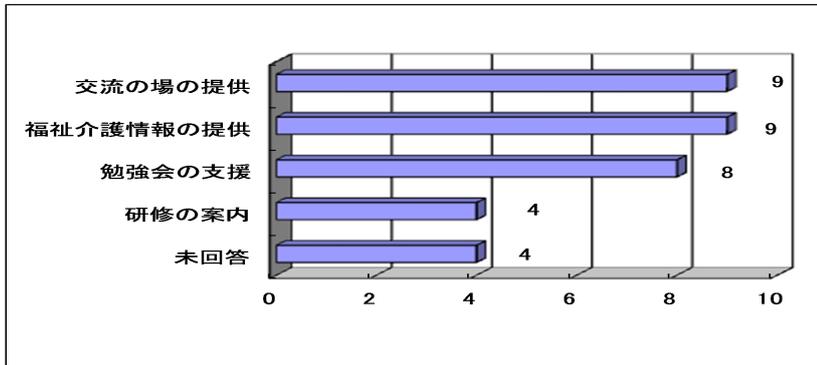


3 会報を通して何をしりたいですか（複数回答あり）



活動の動きを報告したり、会員の皆さんの情報をまとめていきたいと思います。今号でも、センターの動き(P2,3)や交流のページ(P9)を設けていますので、ご覧になってください。

4 会員の特典として望んでいることは何ですか



皆さんからの自発的な活動をお手伝いします。「〇〇がしたい」「仕事でこんなことで悩んでいるけど、どうしたらいい？」など、投げかけてください。お待ちしております。



5 センターの未来の姿について、どんな夢、構想がありますか



意見の多かった主な内容を紹介

- ①YWCA の理念を活かした介護福祉士の専門性を高めていくための活動の中心となれたら・・・ 55%
- ②卒業生や福祉職の研修や憩いの場になったら・・・27%
- ③第三者評価の手伝いをしていきたい・・・18% などの回答がありました。

6 その他、自由にお書きください

- ★センターが今後専門知識を活かしてボランティア派遣もできたらよいと思います。
- ★高齢者支援を充実させる仕組みや人材の育成が出来たら。
- ★せめてある程度の期間は責任を持って仕事を続けてもらえるような指導方法が知りたいです。



皆さんから頂いたアンケートを基にこれからの活動をより一層進めて参りたいと考えています。私達の活動を進めるためには、会員一人ひとりのお力が必要です。活動してみたいことを私たちに発信してください。また、共に行動する仲間を集め一緒に活動しましょう。小さな夢や希望をひとつずつ、一緒に実現していきましょう。ご相談お待ちしております。

※ 5. 6の自由記述はホームページにて詳細を見ていただくことができます。

Information 会員の輪を広げて支えて下さい！

手伝ってくださる方、引き続き募集しています。

- ・ホームページのメールマガジンなど運用・管理してくれる方（1～2名）
- ・会報を作成してくれる方
（レイアウトデザイン・発送 5・11月 それぞれ1～2名。その他臨時増刊号あり）
- ・経理を手伝ってくれる方（ソフトへの簡単入力と伝票整理など 月末1～2名）
- ・その他、データ入力・リサーチ・フィードバック整理を手伝ってくださる方



ご寄付いただいた方のお名前です。ありがとうございます。(2011年5月以降)

川副栄子・佐藤比和・新田和子・大井妙子・池上三喜子 5名。誠に勝手ながら、敬称と金額は省略させていただきます。ご了承ください※万が一、お名前の漏れている方がいらっしゃった場合はお知らせください。

平成 23 年度の会費振込みをお願いいたします。

年会費

正会員 3,000 円/年

賛助会員 一口 10,000 円/年 団体会員 一口 20,000/年

会費振込先

（ゆうちょ銀行と東京三菱UFJ銀行の二箇所あります）

◆株式会社 ゆうちょ銀行 記号 10170 番号 80995501

※ゆうちょ銀行の口座からお振込みの場合、手数料無料となります。

◆東京三菱UFJ銀行 神田支店 口座番号 普通預金0138637

会費振込先2箇所とも口座名義は共通です

口座名義

特定非営利活動法人 東京YWCAヒューマンサービスサポートセンター 代表理事 遠藤久江

皆様からの会費によって、活動が支えられています。会費納入がお済でない方、是非手続きを!!

お願いします。



編集人のつぶやき

「わたしたちのすることは 大海の一滴の水にすぎないかもしれませんが でも、その一滴の水が集まって 大海となるのです マザーテレサのことば」

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11号 東京YWCA会館3階301 LL 教室後方

TEL・FAX 03-6273-7134 E-Mail: info@ywca-hssc.jp ホームページ: <http://ywca-hssc.jp/>

発行人: 石井須美子 編集人: 蛸原まゆみ・柴田美花・寺内真由美 Special Thanks 寺内靖裕・佐藤比和

次回発行は5月予定です。(会報はホームページからも見られます)